

事業シート(令和6年度予算)

事業名	21500 海外戦略推進事業費					会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	
	担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課、商工労働部 商工振興課 内線 2417					2	総務費		まちづくり戦略	(3)	品質・価値の向上と情報発信		
							1	総務管理費		海外戦略、過疎地域持続的発展計画				
							16	海外戦略推進費		根拠計画				

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 世界の活力を呼び込み地域経済の活性化を図るため、海外からの観光客の誘致及び周遊促進を図る。 多様化する外国人観光客のニーズに応え、安心して快適に滞在できる環境を整えるとともに、市内消費を促進するため、受入環境の充実を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 多言語観光パンフレット・ホームページ等の充実やFacebookなどのSNSの活用などによる情報発信の充実 トップセールスや海外旅行博覧会・見本市への出展、海外メディアや旅行関連事業者等への情報発信、日本政府観光局との連携などによる宣伝・誘客活動の推進 外国人観光客向け公衆無線LANサービスの提供や通訳ガイドの育成・確保、文化的・宗教的背景を持つ観光客に配慮したサービスの充実などによる受入体制の強化 高山に滞在した外国人旅行者を対象とした調査の実施
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標
外国人観光客入込数(宿泊)(年間)	40493人		-
「外国人で市内がにぎわい、海外との人や物の交流が進んでいる」と感じている市民の割合	42.4%		↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R4			R5		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		48,275	39,921	34,860			
特定財源	国費(海外戦略推進事業費)		2,946				
	県費(海外誘客プロモーション事業費)		2,000				
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金 等)	30,000	34,893	14,000			
一般財源		18,275	82	20,860			
個票枝番	主な事業内容						
	外国人観光客受入体制の強化	4,670	4,634	5,370			
	飛騨高山国際誘客協議会負担金ほか各種負担金	8,679	8,418	9,070			
	職員海外派遣、海外プロモーション	16,276	15,643	15,800			
	ジャパンハウスロンドン飛騨の匠展	2,300	2,331				
	海外オンラインプロモーション	10,000	4,318				
	外国人医療受入体制整備事業						
◎ 1	地域活性化起業人材受入						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和6年度予算編成(Action) (千円)

R6予算		実施計画額		48,700
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
49,920	49,919	55,519	20,659	
2,500	2,500	2,500	2,500	
14,000	47,000	47,000	33,000	
33,420	419	6,019	△ 14,841	
査定額	説明			
5,400				
10,659				
23,340				
5,300				
5,600				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 海外メディア、旅行関連事業者等の招へい(20件) 多言語ホームページの運用(11言語) パンフレット等の外国語表記に対する助成(1件) 無料Wi-Fiサービスの運用(利用件数10,418件) ジャパンハウスロンドン飛騨の匠展への出展 海外誘客プロモーション事業の実施
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大に係る水際対策の緩和を踏まえ、海外旅行会社へのセールスコールや旅行博への出展、オンラインプロモーションの実施等、積極的な誘客活動を展開した。 水際対策の緩和等の影響により、外国人観光客入込数(宿泊)は前年比の約13倍の40,493人となった。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定 <p>不安定な国際情勢や原油高等の継続、円安の進展など、先行きは不透明ながらも、インバウンド観光の回復傾向を踏まえ、状況に応じた適切なプロモーション施策や受入環境充実のための施策を展開していく。</p>

5.令和5年度事業実績・評価等(Check) R6.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R5完了 <input type="checkbox"/> R6完了予定

担当課 予算要求 ポイント	海外誘客促進と受入環境の充実に必要な経費を計上
---------------------	-------------------------

財務部 査定の 考え方	積算内容を精査
市長査定 の考え方	地域活性化起業人材の受入に必要な経費を計上

事業シート(令和6年度予算)

事業名	21500 海外戦略推進事業費	区分	<input type="checkbox"/> R5新規	<input checked="" type="checkbox"/> R6新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課
枝番・内容	1 地域活性化起業人材受入		<input type="checkbox"/> R5拡充	<input type="checkbox"/> R6拡充		款	2	総務費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	総務管理費	内線	2417	
		<input type="checkbox"/>		目		16	海外戦略推進費	作成年月	R6.2	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・地域活性化企業人交流プログラム(総務省)を活用し、民間人材の専門知識、業務経験、ノウハウ等の活用により、民間の視点を活かした行政課題の解決に取り組むもの。	概要	・地域活性化起業人の受け入れ
----	--	----	----------------

[参考] R4決算(Do・Check) R5.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R5当初予算(Action) R5.3時点 (千円)

予算額	当初	
主な経費		
決算額		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)

R5決算(Do・Check) R6.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

R6当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	5,600
主な経費	・負担金	
決算額		
対前年度増減額(当初予算)		5,600

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R5完了 <input type="checkbox"/> R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・地域活性化起業人の受け入れ ≪地域活性化起業人(企業人材派遣制度)≫ 地方公共団体が、三大都市圏に所在する民間企業等の社員を一定期間受け入れ、そのノウハウや知見を活かしながら地域独自の魅力や価値の向上等につながる業務に従事してもらい、地域活性化を図る取組に対し特別交付税が措置されるもの
[スケジュール]	・R6.4以降 地域活性化起業人の受入

事業シート(令和6年度予算)

事業名	62100 観光宣伝推進事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 持続可能な地域づくりの実現のために観光振興を活用します
	款	6	商工費	まちづくり戦略		(3)	品質・価値の向上と情報発信							
	項	2	観光費	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画										
	目	1	観光振興費	根拠計画										
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部	観光課	内線	2217										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	飛騨高山の観光宣伝を様々な手法や媒体を用いて行い、高山への来訪を促進する。	概要	<ul style="list-style-type: none"> 観光PR用のパンフレットやポスターなど宣伝ツールを作成する。 各種キャンペーンや物産展などへの出向による誘客宣伝活動を実施する。 関係自治体や民間事業者と連携したPR活動を展開する。 継続的なイベントや関係団体事業の支援(協賛広告)による誘客宣伝を実施する。
----	---------------------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	61.3%		7
高山市への再来訪の意向	99.6%		98.0%
観光入込客数(年間)	308.6万人		-
観光入込客数(宿泊)(年間)	142.0万人		-
観光消費額(年間)	867億円		-

2.事業の実施結果等(Do)

		R4			R5		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		31,807	30,557	33,660			
特定財源	国費(国内観光プロモーション事業費)		19,004				
	県費()						
	その他(入湯税、夢・まちづくり基金収入、広告事業雑入等)	11,222	11,553	33,229			
一般財源		20,585	0	431			
個票枝番	主な事業内容						
	観光パンフレット等の作成	8,347	7,682	7,900			
	国内観光プロモーション事業委託の実施	20,000	19,800	20,000			
	市内散策マップのデジタル化			1,900			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和6年度予算編成(Action)

R6予算		実施計画額		14,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
13,130	13,130	13,130	△ 20,530	
13,130	13,005	13,005	△ 20,224	
0	125	125	△ 306	
査定額	説明			
8,600				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度に続き、新型コロナウイルスの影響により、物産展やエージェント訪問等、現地を訪れる観光宣伝事業は減少したが、マイカー利用の観光客が変わらず増加傾向にあることから、高速道路SA等へのパンフレット配架等を強化した。 秋以降、新型コロナウイルスとの共存が進むにつれ、徐々に入込が増加しつつあることから、冬から春に向けての誘客施策の一環として、即効性のあるテレビ番組の制作放映によるプロモーションを実施した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 高速道路でのパンフレット配架、近場をターゲットとしたテレビ番組の放映等、適切な時期に適切な手段をもってプロモーションを図る取り組みが奏功し、観光客入込者数の大幅増加に寄与した。 今後も益々多様化する観光客のニーズを把握し、ターゲットを絞った戦略的な宣伝活動を展開する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

5.令和5年度事業実績・評価等(Check) R6.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R5完了 <input type="checkbox"/> R6完了予定

担当課 予算要求 ポイント	様々な手法や媒体を用いた国内向け誘客宣伝、誘客対策に必要な経費を計上
---------------------	------------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和6年度予算)

事業名	62110 高山祭事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
	款	6	商工費	まちづくり戦略		(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出						
	項	2	観光費	根拠計画		産業振興計画							
	目	1	観光振興費										
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部	観光課	内線	2217									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 高山祭の認知度の向上と来訪者の増加を図る。 高山祭を安全に実施する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 祭協賛会組織への支援による官民一体となった誘客宣伝を実施する。 観光客の安全な誘導に必要な資材の調達や警備の実施など来訪者の受入体制を整備する。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	61.3%		↑
高山市への再来訪の意向	99.6%		98.0%
観光入込客数(年間)	308.6万人		-

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R4		R5		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		6,670	5,783	6,760		
特定財源	国費()					
	県費()					
	その他(寄附金)	1,201	1,201			
一般財源		5,469	4,582	6,760		
個票枝番	主な事業内容					
	高山祭協賛会に対する助成	2,000	2,000	2,000		
	案内本部の運営	4,110	3,185	4,160		
	交通量調査	560	598	600		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和6年度予算編成(Action) (千円)

R6予算		実施計画額		6,600
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
8,270	8,270	8,270	1,510	
8,270	8,270	8,270	1,510	
査定額	説明			
2,000				
5,620				
650				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度は新型コロナウイルスの影響もあったが、春、秋ともに伝統継承の観点から、感染対策を施しながら縮小開催された。 祭会場内に案内本部を設置し、観光客等に安全に安心して観光できる環境を提供した。 祭協賛会への支援を通じた官民一体となった取り組みについては歴史文化保存の観点から継続した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度においては新型コロナウイルスの影響により縮小開催となったが、年間観光客入込数に大きく影響する重要なコンテンツであり、感染状況を鑑みつつ、事業継続を行う必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの分類移行により祭が通常どおり開催され、観光客の増加が見込まれるため、観光客を安全に受け入れできるように努める。 特に外国人観光客は想像以上に増えていくと見込まれるため、外国人観光客に対するプロモーションだけでなく、受入環境の整備も適切に取り組む。 ユネスコ無形文化遺産登録や日本遺産認定を契機とした文化の伝承を意識した誘客活動を推進する。

5.令和5年度事業実績・評価等(Check) R6.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 高山祭実行時の観光客等の案内及び安全確保に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 要求どおり
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおりに

事業シート(令和6年度予算)

事業名	62120 観光誘客推進事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
	款	6	商工費	まちづくり戦略		(3)	品質・価値の向上と情報発信						
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 観光課 内線 2217				根拠計画	項	2	観光費	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画				
	目	1	観光振興費										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 高山訪問の動機づけや周遊型・滞在型観光の魅力の向上を図り、多くの観光客や教育旅行を誘致する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 飛騨・高山観光コンベンション協会や飛騨高山旅館ホテル協同組合など民間団体と連携した誘客活動を展開する。 飛騨高山観光誘致推進協議会による官民一体となった誘客事業を実施する。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	61.3%		7
高山市への再来訪の意向	99.6%		98.0%
観光入込客数(年間)	308.6万人		-
観光入込客数(宿泊)(年間)	142.0万人		-
観光消費額(年間)	867億円		-

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R4			R5		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		14,000	12,800	14,000			
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(入湯税)	14,000	12,800	14,000			
一般財源			0	0			
個票枝番	主な事業内容						
	飛騨高山観光誘致推進協議会負担金	14,000	12,800	14,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和6年度予算編成(Action)

R6予算		実施計画額		16,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
16,000	16,000	16,000	2,000	
16,000	16,000	16,000	2,000	
0	0	0		
査定額	説明			
16,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> (一社)飛騨・高山観光コンベンション協会や飛騨高山旅館ホテル協同組合など民間団体と連携した様々な誘客活動を実施した。 ＜主な取り組み＞ テレビ、ラジオ、インターネット、雑誌、物産展等を活用した誘客宣伝 交通事業者と連携した誘客宣伝 教育旅行に特化したプログラム冊子の電子化、ホームページ等による情報発信 関西圏をターゲットとした広告出稿、SNSを活用した情報発信 アニメツーリズムの推進(氷菓、両面宿衛を活用したプロモーション) 名古屋プリンスホテルと連携したプロモーション事業の実施 世界最大級の旅の祭典「ツーリズムEXPOジャパン」への出展
評価等	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍において、首都圏をはじめとする都市部などでのキャンペーン活動が制限される中、官民一体となって、PR活動を積極的に展開した。 約3年ぶりに開催となった国内最大級の旅行博「ツーリズムEXPOジャパン」に出展し、高山市の魅力を広く発信することができた。(主催者発表入場者数 124,074人) テレビアニメ氷菓放映10周年を記念して「氷菓の重ね擦しスタンプラリー」を実施し(参加者数 2,123人)、誘客施策に対する根強いファンの好反応を確認できた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 官民一体となった誘客事業を継続する。 支所地域の観光関係団体との連携を強化し、新たな観光資源の発掘を推進する。 アフターコロナにおける旅行者のニーズや観光動向を把握し、戦略的且つ効果的な誘客活動を実施する。

5.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 民間団体と連携した様々な誘客活動の推進に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 要求どおり
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおりに

事業シート(令和6年度予算)

事業名	62140 観光協会等助成事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
	款	6	商工費	まちづくり戦略		(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出						
	項	2	観光費	産業振興計画									
	目	1	観光振興費	根拠計画									
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部	観光課	内線	2217									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・様々なツールを活用して飛騨高山を広く国内外にPRし、観光業の振興及び年間を通じた観光客の誘致促進を図る。	概要	・観光関連団体や観光関連事業主催者の取り組みを支援する。
----	---	----	------------------------------

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	61.3%		↑
高山市への再来訪の意向	99.6%		98.0%
観光入込客数(年間)	308.6万人		-
観光入込客数(宿泊)(年間)	142.0万人		-
観光消費額(年間)	867億円		-

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R4		R5		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		164,563	142,411	161,563		
特定財源	国費()					
	県費(観光回廊づくり推進事業費)	3,000	1,500			
	その他(入湯税、夢・まちづくり基金繰入金 等)	145,126	140,911	161,500		
一般財源		16,437	0	63		
個票枝番	主な事業内容					
	観光協会の運営に対する助成	14,500	13,845	14,500		
	観光客誘致推進に対する助成	100,000	100,000	100,000		
	コンベンション誘致に対する助成	6,063	6,063	6,063		
	コンベンション開催に対する助成	14,000	6,070	14,000		
	観光イベント開催に対する助成	30,000	16,433	27,000		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和6年度予算編成(Action)

R6予算		実施計画額		170,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
159,763	159,763	159,763	△ 1,800	
159,000	159,000	159,000	△ 2,500	
763	763	763	700	
査定額	説明			
14,500				
100,000	メディア事業、WEB事業、広告宣伝事業			
6,063	飛騨地域2市1村で負担			
14,000				
25,200				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 観光協会運営費補助金 市内10観光協会に対する補助金 イベント開催支援補助金 市内観光協会や実行委員会に対する補助金 観光客誘致推進事業補助金 観光連絡協議会に対する補助金 飛騨・高山コンベンションビューロー補助金 (一社)飛騨・高山観光コンベンション協会のコンベンション誘致事業に対する助成 コンベンション開催支援補助金 コンベンション開催数: 28件、参加者数: 7,167人
評価等	<p>・春からコロナ対策を施した上でのイベント等に取り組むなど、時勢に応じた誘客活動を実施するとともに、10月の渡航制限緩和以降は国内外観光客とも徐々に人流が回復してきたことから、様々なイベントやプロモーションを状況に合わせて実施することができた。</p>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定 <p>・令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の分類が季節性インフルエンザと同じ5類に下げられたことを受け、想像以上に人流の回復が早まることが推測される。今後も官民一体となって、競合する観光地に先だった施策を推進することで、国内外に対し、国際観光都市「飛騨高山」のプレゼンスの向上に努める。</p>

5.令和5年度事業実績・評価等(Check) R6.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R5完了 <input type="checkbox"/> R6完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・市内観光関連団体や観光関連事業主催者の取組への支援に必要な経費を計上
---------------------	-------------------------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
-------------------	--------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和6年度予算)

事業名	62150 観光振興事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	強く～自然と向き合い暮らす強さ～ 持続可能な地域づくりの実現のために観光振興を活用します
	款	6	商工費	まちづくり戦略		(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出							
	項	2	観光費	根拠計画		産業振興計画								
	目	1	観光振興費											
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部	観光課	内線	2217										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・戦略的な観光施策を展開し、観光振興によるにぎわいの創出を図る。	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信技術を活用した積極的な観光情報の発信を行う。 ・ユニバーサルデザインに基づく観光案内の整備を行う。 ・各種協議会などを活用した広域的な観光客誘致促進事業を展開する。 ・観光統計や交通量調査等による観光関連データを収集する。
----	----------------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	61.3%		↗
高山市への再来訪の意向	99.6%		98.0%
観光入込客数(年間)	308.6万人		-
観光入込客数(宿泊)(年間)	142.0万人		-
観光消費額(年間)	867億円		-

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R4			R5		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		83,108	68,420	82,730			
特定財源	国費(教育旅行促進事業費、体験プログラム利用促進事業費)	35,000	26,000				
	県費						
	その他(入湯税、飛騨高山ふるさと基金繰入金)		15,582	69,558			
一般財源		48,108	26,838	13,172			
個票枝番	主な事業内容						
	各種協議会負担金	12,005	12,005	11,420			
	芸妓育成に対する助成	1,500	1,141	1,500			
	地域資源を活用した誘致	624	24	630			
	新型コロナウイルス感染症に対する経済対策補助事業	60,926	47,693				
	教育旅行促進事業補助金、体験プログラム利用促進事業補助金			63,000			
◎ 1	観光施設におけるバリアフリーモニターツアー						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和6年度予算編成(Action)

R6予算		実施計画額		23,400
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
63,023	23,323	54,823	△ 27,907	
28,363	21,232	20,232	△ 49,326	
34,660	2,091	34,591	21,419	
査定額	説明			
13,923				
1,500				
630				
30,000				
1,500				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・観光施設の入場者数や市内宿泊者数のデータ収集、交通量の調査、観光客へのアンケートなどにより、毎月の観光動向を把握するとともに、観光動向調査を実施した。 ・各種協議会等に参画し、それぞれにおいてコロナ禍における誘客宣伝活動を実施した。 ・おもてなしの文化を振興するための、芸妓の育成を行う団体の取り組みを支援した。 ・ONSEN・ガストロノミー・ツーリズムに対する助成事業は、新型コロナウイルスの影響により実施することができなかった。 ・新型コロナウイルスの影響に対する経済対策補助事業を以下の通り実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ○教育旅行促進事業(第2弾):16,144千円(106校 14,052人利用) ※うち、11,926千円はR3からの繰越明許費 ○体験プログラム利用促進事業(第2弾):31,549千円(16,291人利用)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・おもてなし文化後継者育成支援により、総合的な伝統芸能の習得につなげることができた。 ・各種協議会と連携した事業に加え、コロナ禍においてそれぞれが保有する有益な情報を共有することができた。また、団体によっては負担金の見直しを図った。 ・観光統計を踏まえ、コロナ禍、そしてアフターコロナを見据えた観光客のニーズを把握し、より効果的な宣伝活動を展開する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな地域資源の発掘、そして地域資源を活用した観光振興を推進する。 ・観光動向調査をはじめとする各種調査結果やその分析を継続しつつ、これまでのコロナ禍で得た知見を活かしアフターコロナにおける戦略的観光施策を検討する。 ・市が負担する各種協議会等への負担金等について、参加の是非や必要性を含め見直しを継続して行う。

5.令和5年度事業実績・評価等(Check) R6.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・戦略的な観光施策の展開、観光振興による地域づくりに必要な経費を計上 ・教育旅行及び体験プログラム利用への助成に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行及び体験プログラム利用への助成に必要な経費について予算化を見送り
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行及び体験プログラム利用への助成に必要な経費を計上 ・観光施設におけるバリアフリーモニターツアー実施に必要な経費を計上

事業シート(令和6年度予算)

事業名	62150 観光振興事業費	区分	<input type="checkbox"/> R5新規	<input checked="" type="checkbox"/> R6新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	飛騨高山プロモーション戦略部観光課
枝番・内容	1 観光施設におけるバリアフリーモニターツアー		<input type="checkbox"/> R5拡充	R6拡充		款	6	商工費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		2	観光費	内線	2217	
		<input type="checkbox"/>		目		1	観光振興費	作成年月	R6.2	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・障がいのある方が安心して飛騨高山へ訪れ滞在いただくため、観光施設を対象としたモニターツアーを実施することで、観光を活用した住んでよし訪れてよしの持続可能な地域づくりを推進する。	概要	・障がいのある方を対象に市内の観光施設へ安心して訪れていただくためのモニターツアーを実施し、現状における課題を抽出する。
----	---	----	--

[参考] R4決算(Do・Check) R5.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R5当初予算(Action) R5.3時点 (千円)

予算額	当初	
主な経費		
決算額		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R5決算(Do・Check) R6.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

R6当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	1,500
主な経費		
	・委託料 1,500	
決算額		
対前年度増減額(当初予算)		1,500

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	障がいのある方を対象に市内の観光施設へ安心して訪れていただくためのモニターツアーを実施し、現状における課題を抽出する。
[スケジュール]	R6.5~11 調査業務

事業シート(令和6年度予算)

事業名	62200 観光施設運営事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
	款	6	商工費	まちづくり戦略		(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出						
	項	2	観光費	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画									
	目	2	観光施設費	根拠計画									
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部	観光課	内線	2209									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・観光施設を活用した観光振興を推進することで、にぎわいの創出を図る。	概要	・自然資源の活用施設や体験交流施設など観光施設を適切に管理運営する。
----	------------------------------------	----	------------------------------------

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	61.3%		↗
高山市への再来訪の意向	99.6%		98.0%
観光入込客数(年間)	308.6万人		-

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R4			R5		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		280,180	256,174	266,550			
特定財源	国費()						
	県費(新穂高温泉園地管理費等)	274	274	274			
	その他(指定管理事業雑入(観光施設)、飛騨高山ふるさと基金繰入金等)	15,345	15,881	74,939			
一般財源		264,561	240,019	191,337			
個票枝番	主な事業内容						
	観光施設の管理運営	242,480	218,628	196,250			
	施設整備	37,700	37,546	70,300			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和6年度予算編成(Action) (千円)

R6予算		実施計画額		250,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
331,140	351,530	351,530	84,980	
274	274	274	0	
17,813	20,514	20,514	△ 54,425	
313,053	330,742	330,742	139,405	
査定額	説明			
243,330				
108,200				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 観光施設20施設(うち指定管理施設18施設)の管理運営 観光施設の維持修繕等(塩沢温泉七峰館駐車場舗装修繕など)の実施 新型コロナウイルス感染症予防対策(施設内における手指消毒や換気の徹底及びバーテーションによる間隔の確保)の実施
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設等総合管理計画に基づき、施設の整理・見直し(ひだ清見ラベンダー公園廃止・移転決定)を実施した。 指定管理者制度により、民間活力を活用した施設運営やサービスの向上が図られている。 施設の現状を踏まえつつ、老朽化した施設の計画的な修繕を実施した。 新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、人流の動きは回復傾向となり、利用者数は大きく増加している。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 計画的に施設の修繕をすすめる。 公共施設等総合管理計画の方針に基づいた対応を行う。

5.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・観光施設の管理運営、施設整備に必要な経費を計上
---------------------	--------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和6年度予算)

事業名	62205 飛驒民俗村再整備事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
	款	6	商工費	まちづくり戦略		(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出						
	項	2	観光費	根拠計画		産業振興計画							
	目	2	観光施設費										
担当課	飛驒高山プロモーション戦略部	観光課	内線	2209									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・松倉・民俗村エリアの賑わい創出と活性化を図るとともに、市街地観光における周遊性を高める。	概要	・飛驒民俗村再整備構想に基づく飛驒民俗村及び周辺エリアの再整備
----	---	----	---------------------------------

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標
観光入込客数(年間)	308.6万人		-
飛驒の里の入場者数(年間)	9.8万人		29.0万人

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R4			R5		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		37,000	33,241	71,400			
特定財源	国費()						
	県費(観光施設整備事業費 1/4)	6,500	6,220	7,450			
	その他(飛驒高山ふるさと基金繰入金)	21,000	27,000	50,000			
一般財源		9,500	21	13,950			
個票枝番	主な事業内容						
	飛驒民俗村再整備構想に基づく整備	37,000	33,241	71,400			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和6年度予算編成(Action) (千円)

R6予算		実施計画額		57,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
109,000	104,000	87,000	15,600	
10,000	10,000	10,000	2,550	
	10,000	70,000	20,000	
99,000	84,000	7,000	△ 6,950	
査定額	説明			
87,000	旧前田家屋根葺替、文学散歩道整備ほか			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	・飛驒民俗村再整備構想に基づく施設の整備等(飛驒民俗村の旧野首家屋根葺替など)を実施 ・令和4年度利用者数 飛驒民俗村 97,545人
評価等	・飛驒地域の民俗文化や里の風景のなかで誰もが非日常を体験できるよう、施設等の改修・景観保全等の推進を図った。 ・地域住民と指定管理者及び行政が連携し、飛驒民俗村再整備構想を推進するとともに、魅力ある施設として、更なる交流人口の増加を図る必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・飛驒民俗村再整備構想の推進を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

5.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R5完了 <input type="checkbox"/> R6完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・飛驒民俗村再整備構想の推進に必要な経費を計上
---------------------	-------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・山岳資料館修理工事について予算化を見送り

事業シート(令和6年度予算)

事業名	62207 奥飛騨温泉郷活性化事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
	款	6	商工費	まちづくり戦略		(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出						
	項	2	観光費	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画									
	目	2	観光施設費	根拠計画									
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部	観光課	内線	2209									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・奥飛騨温泉郷を活性化させる各種施策を展開し、これまで以上に多くの観光客が訪れる観光地づくりをすすめる、更なる誘客を図る。	概要	・奥飛騨温泉郷活性化基本構想に基づく同地域の活性化に向けた各種事業の実施
----	---	----	--------------------------------------

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標
奥飛騨温泉郷の宿泊者の観光消費額	133億円		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R4		R5		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		8,000	0	19,400		
特定財源	国費()					
	県費()					
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金、地方債)			10,000		
一般財源		8,000	0	9,400		
個票枝番	主な事業内容					
	奥飛騨温泉郷活性化基本構想に基づく施設整備	8,000	0	19,400		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和6年度予算編成(Action) (千円)

R6予算		実施計画額		180,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
188,600	188,600	188,600	169,200	
	83,000	173,000	163,000	
188,600	105,600	15,600	6,200	
査定額	説明			
188,600	平湯大滝公園整備(解体)、新穂高駐車場自動料金システム設置			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	・旧笠山荘建設時の建物詳細設計等(基礎、敷地内埋設物等の設計図書)では、埋設物等が不明確であったことから、令和5年度の旧笠山荘解体工事完了後、令和6年度において旧笠山荘跡地の駐車場整備設計等業務を発注するよう見直した。
評価等	・奥飛騨温泉郷活性化基本構想をはじめ、松本高山Big Bridge構想を推進する中で、奥飛騨温泉郷の地域資源を最大限活用し、上質で多彩な利用と滞在を提供するとともに、世界水準のディスプレイネーションの実現を目指していく。 ・休止施設(平湯大滝公園)の再活用についての方向性(景観改善・自然公園化)を示した。
次年度以降の考え方(担当課)	・奥飛騨温泉郷活性化基本構想の推進を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

5.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R5完了 <input type="checkbox"/> R6完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・奥飛騨温泉郷活性化基本構想の推進に必要な経費を計上
---------------------	----------------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和6年度予算)

事業名	62210 スキー場運営事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
	款	6	商工費	まちづくり戦略		(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出						
	項	2	観光費	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画									
	目	2	観光施設費	根拠計画									
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部	観光課	内線	2209									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・スキー場のあり方の検討結果に基づく対応をすすめる。	概要	・索道施設の解体撤去等を行う。
----	----------------------------	----	-----------------

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	61.3%		↗
高山市への再来訪の意向	99.6%		98.0%
観光入込客数(年間)	308.6万人		-

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R4		R5		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		134,781	111,742	107,090		
特定財源	国費()					
	県費()					
	その他(土地貸付収入、飛騨高山ふるさと基金繰入金 等)	139	139	85,000		
一般財源		134,642	111,603	22,090		
個票枝番	主な事業内容					
	スキー場の維持管理	105,770	84,504	4,400		
	施設整備(解体)	27,534	25,761	100,000		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和6年度予算編成(Action)

R6予算		実施計画額		159,100
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
143,800	160,800	160,800	53,710	
277	277	277	△ 84,723	
143,523	160,523	160,523	138,433	
査定額	説明			
6,240	水道施設・浄化槽施設等管理			
152,000	索道施設等解体			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による市営スキー場2施設(モンデウス飛騨位山スノーパーク・飛騨舟山スノーリゾートアルコピア)の管理運営 利用者の安全を確保するためのリフト修繕の実施 新型コロナウイルス感染症予防対策(施設内における手指消毒や換気の徹底及びバーテーションによる間隔の確保)の実施 令和4年度利用者数 モンデウス飛騨位山スノーパーク 27,253人 飛騨舟山スノーリゾートアルコピア 27,732人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設等総合管理計画、スキー場のあり方に関する検討結果と方向性等に基づき、施設の整理・見直し(飛騨舟山スノーリゾートアルコピア廃止、モンデウス飛騨位山スノーパーク所管替の決定)を実施した。 飛騨舟山スノーリゾートアルコピアは、地域のシンボルとして、惜しまれながらもその長きにわたる営業を終了する最終年度となったが、コロナ禍以前の状況に近づく程の多くの利用者を受入れるなど、賑わいの創出を図った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定 <p>・公共施設等総合管理計画、スキー場のあり方に関する検討結果と方向性等に基づき、施設の整理・見直しを実施した後の、財産の管理や処分を行う。</p>

5.令和5年度事業実績・評価等(Check) R6.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R5完了 <input type="checkbox"/> R6完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・索道施設解体等に必要経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和6年度予算)

事業名	62220 観光案内所運営事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
	款	6	商工費	まちづくり戦略		(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出						
	項	2	観光費	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画									
	目	2	観光施設費	根拠計画									
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部	観光課	内線	2209									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	観光客への適切な情報提供と案内を行うとともに、心のこもったおもてなしによる対応により、滞在の満足度を高める。	概要	・飛騨高山観光案内所及び新穂高センター(奥飛騨温泉郷観光案内所)の管理運営を行う。 ・まちかど観光案内所を設置し運営する。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	61.3%		7
高山市への再来訪の意向	99.6%		98.0%
観光入込客数(年間)	308.6万人		-

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R4			R5		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		21,109	20,671	21,560			
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(観光施設使用料、入湯税等)	5,400	20,671	21,400			
一般財源		15,709	0	160			
個票枝番	主な事業内容						
	観光案内所の管理運営	17,806	17,369	18,170			
	まちかど観光案内所の管理運営	3,303	3,302	3,390			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和6年度予算編成(Action)

R6予算		実施計画額		22,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
21,530	8,290	8,290	△ 13,270	
21,400	6,400	7,400	△ 14,000	
130	1,890	890	730	
査定額	説明			
4,770				
3,520				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による飛騨高山観光案内所の管理運営 古い町並エリア内まちかど観光案内所の設置・運営 直営による新穂高センター(奥飛騨温泉郷観光案内所)の管理運営 新型コロナウイルス感染症予防対策(施設内における手指消毒や換気の徹底及びバーテーションによる間隔の確保)の実施 令和4年度利用者数 飛騨高山観光案内所 114,319人 新穂高センター(奥飛騨温泉郷観光案内所) 8,235人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 飛騨高山観光案内所は、市の玄関口として観光客のニーズが高く、観光の起点としての役割を果たしている。 飛騨の家具やベレットストアを導入し、市内産業や環境保全に関する取組みのPRとなっている。 新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、人流の動きは回復傾向となり、利用者数は大きく増加している。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 近隣の観光案内所との連携を図りながら、広域観光案内の実現を図る。 利用者のニーズを踏まえた観光案内を行うとともに、国内外を問わず、案内窓口の拠点として、利用者に再訪を促すことのできるような施設運営を行う。 公共施設等総合管理計画の方針に基づいた対応を行う。

5.令和5年度事業実績・評価等(Check) R6.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・観光案内所の管理運営に必要な経費を計上
---------------------	----------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査 ・飛騨高山観光案内所の管理運営を指定管理から直営管理へ見直し
-------------------	--

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------